

# 世紀目指して石桜精神

## 岩手・高 創立90周年で記念式典



90周年を祝い校歌を歌う岩手中・高校の在校生ら

は今も受け継がれている。若者にとつて明るい未来が想像できる社会となることを切に願う」とあいさつした。

村井校長は「これまでに1万4千人余りの生徒が学校を巣立っていった。これからの時代を背負うのは在校生の皆さんは、『岩校ここにあり』という気概を持ち、誇りを持って一歩ずつ前進してほしい」と式辞を述べた。

この他、盛岡先人記念館の千田順一館長が「創立者 三田義正について」と題し、式典後に講演。建学の理念を改めて考えた。

同校は1926（大正15）年に旧制岩手中学として開校。47（昭和22）年に新制岩手中学に移行し、48（昭和23）年に岩手高校を開校。近年では、2008年に県内初の私立併設型中高一貫校として認可。勉学以外にも囲碁・将棋部、山岳部、テニス部などスポーツ・文化活動の両面で建学の精神を体現し続けている。

田義正氏が建学の旨とした質実剛健の「石桜精神」を歌う校歌を斉唱。90周年を祝うとともに、100周年となる10年後の母校の隆盛を祈念した。

三田義之理事長、小枝指博同校石桜同窓会会長ら同窓生、旧制中学からの歴代の校長ら来賓と在校生の約700人が出席。15日には同窓会が同校に三田義正氏の胸像を寄贈。90年の節目を祝っている。

三田義之理事長は「義正の理想とする人間像は、飾り気のない真面目で強く健やかな質実剛健な人間だった。卒業生は、政治や経済などさまざまな分野で活躍している。これこそが本校の最も偉大な功績だ。その精神

校。近年では、200

盛岡市長田町の私立岩手中・高校（村井伸吾校長、生徒506人）は22日、マリオス内の盛岡市民文化ホールで創立90周年記念式典を開いた。県内唯一の男子校で私立の中高一貫校として、創立者の三